

営農指導実践全国大会

柴田さん(JA山形)おきたま最優秀

J A全中は19日、第5回J A営農指導実践全国大会をオンラインで開催した。全国8地区を代表する8J Aの営農指導員が、地域農業の課題解決のため知恵を絞って奔走し、農家所得向上につながる成果を報告した。最優秀にJA山形おきたま

営農経済部園芸販売課の柴田啓人さん、審査員特別賞にJA鳥取中央の浦営農センター果実園芸課の後藤慎司さんを選んだ。

▼7面に関連記事

にJAグループ公式ホームページで公開する予定だ。

最優秀の柴田さんは、果実など園芸品目で品質格差が課題となっていたことから、2015年にJAで「園芸事業改革プロジェクト」を発足。統一

の収益も改善。柴田さんは「二つ一つの取り組みが結果に結び付く大切さを学んだ」と振り返った。

JA鳥取中央の後藤さんは、異常気象や病害な

どに悩むプロックリー産地を、部会活動、営農指導、青年部活動の三つの強化策で支援。生産を持ち直させ、19年度には販売額4億円を達成した。

全中の中家徹会長は「地域農業者やJAの仲間と試行錯誤し、着実な成果を得たものばかり。それぞれの現場の課題解決の参考となる」と発表者らをたたえた。